平成24年度施政方針

2月那覇市議会定例会で、翁長市長が述べた新年度(平成24年度)の施政方針の要旨を掲載します。
※全文は、市ホームページでご覧になれます。
http://www.city.naha.okinawa.jp/
お問い合わせ:企画調整課☎862・9937

市政運営の基本姿勢

〈家族と地域の絆〉

家族や地域の強い絆を大切に、しっかりとした保育や教育で育まれた子どもたちは必ずや将来、すばらしい人材となって、私達の未来を担っていきます。平成24年度も子どものための施策に力を入れていきます。

〈3・11震災後〉

昨年発生した東日本大震災が日本に与えた影響は大きく、「震災後」は、これから様々な面で大きな意味を持ってきます。

被災地の復興、避難住民に対する支援、原発事故への対応のため、我が国の政治も経済も大きく動き、私たちの沖縄にも影響は及んでいます。

それでも私たちは、東日本の復興に力を注がなければなりません。被災地に対して、惜しみなく支援していくことが、最も被災地から離れた地にある沖縄の役割であると考えています。本市も、被災者に対する市営住宅の無償提供を行うなど支援を継続して行っていきます。

平成24年度からは、津波から市民の生命を守る、津波避難ビルの建設に向け取り組んでいきます。

〈新たな沖縄振興計画と一括交付金〉

平成24年度は、4次にわたる沖縄振興のための計画に引き続く、沖縄21世紀ビジョンの基本計画の初年度です。

私は、市長会会長として沖縄振興一括交付金創設と制度拡充のため、力を尽くしてきました。

難しい交渉の末、沖縄振興一括交付金の創設、ほぼ要求に近い総額を認めていただきましたが、まだまだ課題が残っています。特に、ソフト事業に充当される「(仮称)沖縄振興特別推進交付金」約800億円の執行については、沖縄の力量が試されています。

新たな沖縄の振興は、「万国津梁の鐘」に刻まれた、世界の架け橋への思いを実現することであり、「沖縄らしい、やさしさと思いやりのある社会」を構築することだと思います。

〈ちゅい　助き助き〉

昨年11月の「世界のウチナーンチュ大会」で、ブラジルの沖縄県人会与那嶺真次会長は、沖縄の素晴らしい助け合いの心・チムグクルを表すものとして、「ちゅい　助き助き」という言葉を繰り返し話されました。

移民先でも、沖縄のチムグクルが、県人の海外での活躍と発展につながったというお話は、市民との協働によるまちづくりを進めてきた私にとっても大きな驚きであったと同時に、進むべき方向性について大きなお墨付きをいただいたようで、たいへん心強く思いました。

「ちゅい　助き助き」という言葉を、市民との協働のまちづくりを支えるチムグクルとして、また、美しい沖縄の方言文化の継承を呼びかける言葉として、「いい暮らしより、楽しい暮らしを」とともに、本市の新しいキャッチフレーズに活用したいと考えています。

〈新総合庁舎に託す想い〉

12月には、いよいよ新総合庁舎が完成します。

新総合庁舎には免震構造を採用しており、震災時には復旧・復興にあたる災害対策の拠点として、市民の安心・安全な暮らしを守ります。

さらに、緑豊かな新総合庁舎は「屋上緑化」「壁面緑化」の象徴となる他、太陽光発電も取り入れており、環境先進都市・那覇をアピールできます。

〈中核市・那覇をめざして〉

平成25年4月に、本市は中核市として新たな一歩を踏み出します。中核市へ移行することで、保健所の設置などの他、福祉、都市計画、環境など様々な業務分野で、市民に身近なサービスが本市で行えるようになり、さらなる職員の意識改革を通じて、市民サービスが大きく向上するものと考えています。

そのためにも、保健所設置に必要な施設、備品の整備に取り組むなど、平成24年度は移行に向けての準備作業をしっかり進め、中核市移行を広く市民へ周知していきます。

国や地方の厳しい財政状況や地域主権推進の動きを考えた時、中核市となることは、那覇市が真に自立した自治体となるための通過点であり、それは、理想の住民自治と持続可能な行財政運営を実現するためにも、必要なことだと考えています。

予算編成

一般会計予算は、125億2千3百万円で、対前年度比14億7千3百万円、1・2%伸びています。

歳出予算の伸びは、障がい福祉サービスなど給付費や生活保護費などの扶助費の増、新庁舎建設事業、保健所設置を中心とする中核市移行に向けた準備経費によるものです。

歳入予算では、市民税などの増により市税全体として約9億2千万円の増となりましたが、結果として約28億円の収支不足となり、財政調整基金約21億円、減債基金7億円を取り崩して対応しています。

企業会計を除く特別会計予算は、総額約670億円で、対前年度比33億4千万円、約5%の増です。特別会計予算の増額は、国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計の増などによるものです。

国民健康保険特別会計では、平成23年度の累積赤字が約37億円に達する見込みで、重大な問題です。累積赤字解消のため、今後とも制度的な解決策を国に求めていきます。

主要事業

第4次那覇市総合計画で掲げた6つの都市像に沿って説明します。

心地よいつながりでつくる自治・協働・平和都市

〈協働によるまちづくり〉

・那覇市協働によるまちづくり推進協議会」とともに、協働大使の活動支援と連携を強化し、協働によるまちづくりを推進します。

・小学校区コミュニティモデル事業では、若狭、銘苅小学校区で、小学校区まちづくり協議会の設立をめざします。

・「なは市民協働大学」では、協働によるまちづくりについて学ぶとともに、地域の人材発掘とコーディネーター育成に努めます。

地域力を活かし、生きがいをもって支えあう健康都市

〈健康づくりと地域医療の充実〉

・子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、高齢者肺炎球菌ワクチンに対する公費助成を継続します。

・「健康なは21」を食育の観点から補完する那覇市食育推進基本計画を策定します。

・「2歳児歯科健診」を新たに導入します。

・那覇市立病院では、小児救急をはじめとする救急医療の確保や、開業医との医療連携を推進するなど、地域医療の充実に取り組みます。

・後期高齢者を対象とした各種がん検診に対する助成を継続します。

・誕生月健診の案内、日曜健診の定期開催、イベント時健診などの実施により、特定健診受診率と保健指導実施率の向上をめざします。

〈ユニバーサルデザインのまちづくり〉

・パレット市民劇場の階段へスロープ、昇降機を設置し、施設のバリアフリー化を進めます。

・「市民介護相談員なは」の取り組みを支援します。

〈ともに生きる心を育てる〉

・福祉のまちづくり推進員と協働し、サービス介助セミナーを開催するとともに、バリアフリーセミナーを継続します。

・高齢者公共交通割引制度、食の自立支援、軽度生活援助事業を継続します。

・地域福祉担い手を拡充し、住民と連携した地域の福祉課題解決のための「支え合いの輪づくり」を推進します。

・緊急時や災害時等における要援護者に対する支援のため、自治会や住民などとの相互連携を図ります。

〈自立を支援するサービス提供〉

・「障がい者就労支援事業」の充実を図ります。また、居宅や施設における介護、生活訓練などのサービスを引き続き提供します。

・地域生活支援事業を実施し、発達障がい者の自立した生活を支援します。

・「地域ふれあいデイサービス事業」により、高齢者の健康づくりと生きがいづくりの場を提供します。

人・自然・地球にやさしい環境共生都市

〈地球環境への配慮〉

・太陽熱利用システムに対する助成を開始します。

・市民公用車を電気自動車へ更新し、新総合庁舎には、電気自動車用の急速充電器を設置します。

・省エネエコライフ啓発講座を開催するなど、温室効果ガス排出量の削減に取り組みます。

〈資源循環型社会〉

・雨水貯留・浸透施設設置の補助事業は、建設補助金の対象枠を増やします。

〈自然環境の保全・再生・創造〉

・旧最終処分場跡地を多目的広場として整備します。

〈衛生的な環境の確保〉

・市が保管している高濃度のPCB廃棄物を、九州にある処理業者へ委託し、適正に処分します。

子どもの笑顔あふれる、ゆたかな学習・文化都市

〈生涯学習と地域の教育力の向上〉

・陸上競技場兼サッカー場建設は、高率補助の確保に向け国と粘り強く交渉し、基本構想・基本計画策定に向け取り組みます。

・市立図書館のコンピュータシステムを更新します。

・10月開催の「天皇賜杯第67回全日本軟式野球選手権大会」に補助を行います。

・児童のスポーツ県外派遣補助金」を充実します。

〈子育て支援と就学前教育・保育〉

・法人保育所の増改築に対する補助を継続する他、認可外保育施設に対しても、市独自の補助事業を始めます。

・幼稚園では、預かり保育のための指導員と支援ヘルパーを増員します。

・幼稚園と保育所が一体となった「那覇市あめくみらい幼保園」を開園させる他、沖縄都市モノレール延長工事に着手するとともに、汽泊児童クラブ舎を泊小学校内に整備します。

・厳しい室温環境にある小中学校の教室へ冷房機器設置を進めます。

・児童生徒の県外派遣補助金と派遣旅費に対する補助金予算を増額します。

・民間アパートなどで運営している児童クラブへの家賃補助を増額します。

・平成26年度の前島・久茂地両小学校の統合に向け、取り組みを進めます。特に久茂地小学校に対しては、保護者や地域住民のご理解とご協力を得ながら、両校児童の交流事業を進めます。また、前島小学校に対しては、校舎の全面リニューアルを行うとともに、水泳プールの改築に併せ児童クラブや地域連携施設などの整備に向けた準備を進めます。

・小中一貫教育の全市導入に向け、神原中学校区をモデル校として実施します。

・放課後子ども教室の拡大を図るとともに、「やる気・元気旗頭フェスティバル」の充実をめざします。

〈文化の継承と発展〉

・新市民会館建設に向け、建設基本構想の策定を行う他、3億円余りを建設基金として積み立てます。

・国宝「琉球国王尚家関係資料」の修理を進め、所蔵資料を活用した企画展を開催します。

・国指定重要文化財「新垣家住宅」は、全体の保存修理事業を継続します。

・世界遺産「識名園」の消防設備取替え工事を行います。

人も、まちも活きいき、美ら島の観光交流都市

〈産業の振興〉

・那覇の物産展を、新総合庁舎ロビーなどで実施します。

・市内中小企業者の商品・サービスの県外・海外への販路拡大に向けた支援を強化します。

・農家の生産奨励や漁業の生産基盤整備のため、各種助成事業を継続します。

・泊漁港セリ市場建物の補強・整備に対して補助を行うとともに、市の魚マグロと水産物の消費拡大をPRします。

〈まちの活性化〉

・「ひやみかちマチグワー館」を拠点としたイベントや、各種市民講座、映画上映などを行います。

・国際通りや沖映通りなどで、路上喫煙防止事業を継続します。

・読売巨人軍の春季キャンプが継続されるよう、受入体制の充実に努めます。

・那覇港には、今年、県外国外から約70隻のクルーズ船の寄港が見込まれており、外国人観光客の受入態勢を更に充実させます。

・那覇まちまーい」事業を継続します。

〈就労支援・相談体制〉

・地域人材育成事業」を活用して、IT産業における継続雇用の向上をめざします。

・なはし就職なんでも相談センターを拠点とした就職相談、各種セミナーなどの支援を続けます。

安心、安全で快適な亜熱帯庭園都市

〈都市防災と防犯〉

・電信柱などへの海抜表示板の掲示を進めます。

・防災資機材を交付して、地域における防災力向上を進めます。

・民間住宅の耐震診断費用の一部を補助します。

・救命講習用資機材の整備を行って、救命講習会の充実を図り、「救急ステーション」の設置を促進します。

〈市街地の整備〉

・中心市街地の再開発事業への支援を継続するとともに、農連市場地区での事業計画・組合設立の認可取得を受けて、防災街区整備事業を開始します。

・真嘉比古島第二土地区画整理事業では、幹線道路となる那覇中環状線の開通をはじめ、地区内道路や公園、宅地造成などの完成に向けて取り組みます。

・大名市営住宅の第1期建替工事に着手します。久場川、石嶺、宇栄原の各市営住宅の建替工事では、社会福祉施設などの整備を図りながら、継続して事業を推進します。

・老朽化した識名霊園の北納骨堂は、集合型の市民共同墓および納骨堂への建て替えに着手します。

〈交通体系の整備〉

・石嶺線など7路線の都市計画道路と、バリアフリーに配慮した身近な生活道路の整備を継続します。

・都市計画道路真和志線と桜坂細部街路の2路線の整備事業に着手します。

・沖縄都市モノレール延長事業は、延長区間の実施設計を行って、モノレール本体工事などに着手します。

・モノレールと並ぶ市内の公共交通軸を構築するため、モデル性の高い基幹的公共交通の導入に向けた環境整備に取り組みます。

・狭あい道路は、舗装整備などへの助成金などを交付します。

〈上下水道の整備〉

・真嘉比・古島第二土地区画整理地区の配水管布設工事や県道11号線、国道507号線での配水管布設替工事を行うとともに、配水系統の中ブロック化を継続します。

・真地および首里地域での汚水管布設整備を継続するとともに、浸水対策として牧志および真地地域などで雨水施設整備を推進します。

・地震対策事業としてのマンホールの浮上対策を継続します。

〈自然と調和したまちなみ〉

・防災機能も備えた新都心公園を含む20か所の公園、および緑地の整備を推進します。

・山下町第一洞穴遺跡を保存活用して、街区公園を新たに整備します。

・景観形成推進事業を継続し、「那覇市景観計画」と新「那覇市都市景観条例」を施行します。

・屋外広告物に関する条例などの整備を行います。

結びに

〈沖縄らしい優しい社会をめざして〉

県が策定中の沖縄21世紀ビジョンの基本計画では、「沖縄らしい優しい社会の構築」が基軸として掲げられており、離島振興が大きな課題のひとつです。

周辺離島の振興を考えることは、県都としての本市の責務です。

特に、渡嘉敷、座間味、粟国、渡名喜の4離島村の船舶航路は、泊港が発着点で、4離島村と連携することは、本市の観光地としての魅力の幅を広げて、共存共栄にもつながると考えています。そこで、平成24年度は、本市と4離島村との間で連携事業を立ち上げ、実施します。

多くの市民が、離島の恵まれた自然と生活環境を肌で感じて、共存共栄の意識を持ち、「沖縄らしい優しさ」を発揮するようになれば、アジア・太平洋の島々との連携もさらに進み、本市のさらなる発展への道が開かれると思います。それは、地域主権推進先進事例となるものであり、日本という国のあるべき姿について、一石を投じるものになると確信しています。

「人の一生は重き荷物を負うて、遠き道をゆくがごとし」、「身を捨ててこそ、浮かぶ瀬もあれ」。私には2つの座右の銘があります。市政運営を進める中で、時には忍耐を求め、時には果敢な決断を促すものとして私の心の中で輝いてきました。

私は、那覇市がしっかりと大地に根を張ってさらに伸びていけるよう、この大事な1年を、責任を持って着実に、そして時には固い信念と決意を持って歩んでいきたいと思います。

平成24年2月21日
那覇市長　翁長雄志

平成24年度主な新規事業一覧

(単位:千円)

戦争遺跡保存事業	(1,484)
「思春期の心と体」のための意識啓発事業	(1,689)
市議会映像配信事業	(806)
那覇市食育推進基本計画策定事業	(1,214)
2歳児歯科健診	(4,954)
発達支援強化事業	(1,708)
介護相談員派遣事業補助金	(880)
PCB処理対策事業	(108,784)
旧最終処分場広場整備事業	(14,626)
新市民会館建設　基本構想策定支援業務委託	(3,000)
認可外保育施設の環境整備事業	(25,000)
普通教室冷房設置事業	(10,301)
那覇市地域総合整備資金貸付事業	(727,000)
日本商工会議所青年部　第32回全国大会おきなわ	
那覇大会事業費補助金	(3,000)
泊漁港内セリ市場整備事業	(1,765)
那覇市民間住宅耐震化促進事業	(2,840)
自主防災組織防災資機材交付事業	(2,000)
(仮称)立体都市公園等整備事業	(6,000)
離島支援連携事業	(24,899)
前島・久茂地小学校統合新校整備事業	(206,988)
前島・久茂地小統合新校校舎増築及び	
プール改築等事業	(25,996)
前島・久茂地小学校統合新校児童クラブ整備事業	(3,158)
前島・久茂地小児童交流事業	(452)
前島・久茂地小学校統合新校整備事業(幼稚園)	(15,090)

「特小」サイズのごみ袋を販売しています♪　単身世帯など「小」サイズでも大きいと感じていた方、燃やさないごみの量が少なくて捨てにくかったという方もぜひお試しください。お近くの販売店については環境政策課まで(☎951-3231)